

Authorship の表記について

Q: 論文文化にあたっての authorship に関する諸注意

A: 2017 study では著者に関しては、ICMJE ガイドラインに従うことにしました。

<http://www.icmje.org/recommendations/browse/roles-and-responsibilities/defining-the-role-of-authors-and-contributors.html>

1. 筆者は日本救急医学会関東地方会の会員であること。
2. 筆者の最後に on behalf of the SOS-KANTO 2017 Study Group を付けること。
3. 会員以外の必要な筆者は Contributor や Collaborator として論文の最後に載せる。SOS-KANTO としての責任を果たすために、必ず、最終責任者である SOS-KANTO 委員長を入れる
4. Gift authorship や multiple authorship を避け、以下の事に留意すること
 - ・ 研究の着想、デザインまたはデータの取得・解析・解釈に本質的に貢献する
 - ・ 原稿を執筆または、重要な内容について批判的に修正している
 - ・ 最終原稿を承諾している
 - ・ 研究のあらゆる部分に関して、正確性や整合性に関する問題が適切に実施解決されていることを保証し説明責任を負う
5. 新規 PICO 申請もしくは、研究計画書提出の段階で、その論文に関わる基本的な著者メンバーを決めておくことを推奨する。
6. 学会、研究会（営利目的以外）での発表は事前に委員会まで報告のこと。
7. Contributor や Collaborator 以外に SOS-KANTO 2012 study group の名前のリストを規定通り載せる。ただし、雑誌によっては、掲載ができないものもあり、その場合は省略し、学会の URL のみ掲載。
8. Authorship の記載例 迷った場合は、委員会にご相談ください。

9. 記載例

筆頭著者 1), 施設内の直接指導者 2), SOS-KANTO 委員会委員長 3), data cleaning 4), [統計解析 5), 解析統計 6), その他著者条件を満たす貢献者 7) (著者順は、責任著者に一任)

[5), 6) は統計解析について指導を受けた場合]

○○○○1), ○○○○2), Nobuya Kitamura³⁾, Takashi Tagami 4), ○○○○5) and on behalf of the SOS-KANTO 2017 Study Group

○○○○1), ○○○○2), Nobuya Kitamura³⁾, Takashi Tagami 4), Hideo Yasunaga 6), Shotaro Aso 7), ○○○○ 8), and on behalf of the SOS-KANTO 2017 Study Group

3) Nobuya Kitamura, MD, PhD

Department of Emergency and Critical Care Medicine, Kimitsu Chuo Hospital

kitaccm-cib@umin.ac.jp

4) Takashi TAGAMI, MD, MPH, PhD

Department of Emergency and Critical Care Medicine, Nippon Medical School

Musashikosugi Hospital

t-tagami@nms.ac.jp

5) Hideo Yasunaga, MD, PhD

Department of Clinical Epidemiology and Health Economics, School of Public Health, The University of Tokyo

yasunagah@m.u-tokyo.ac.jp

6) Shotaro Aso MD, MPH, PhD

Department of Biostatistics and Bioinformatics, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo

s_aso@m.u-tokyo.ac.jp

日本救急医学会関東地方会

常任幹事長 井上貴昭

SOS-KANTO 委員会

担当常任幹事 中田孝明

委員長 北村伸哉